

# 令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 長行 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

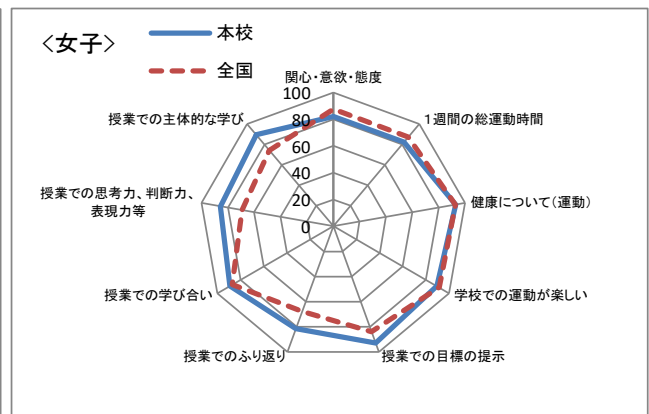
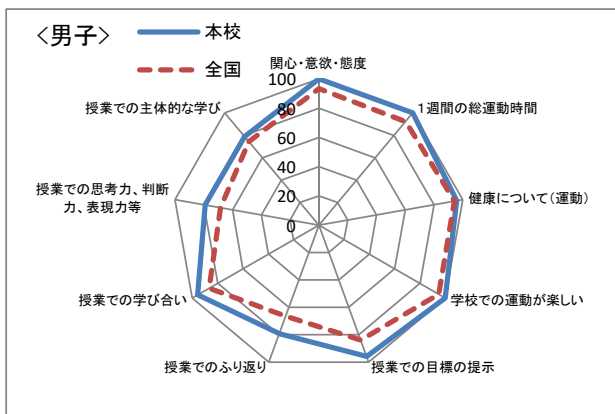
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目	○		○	○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目		○	○	○	○			○	○

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

・心の時間での「早寝早起き朝ごはん」や学級活動、保健体育などの取組もあり、健康であるために、運動が大切であると感じている児童が多い。また、1週間の総運動時間が全国平均を男女共に上回るよう、運動をする習慣が身に付くような機会に取り組んでいく必要がある。  
 ・体育科の学習では、児童が運動の楽しさに触れ、主体的に学び合いながら、運動の技能を高める活動ができています。今後も、さらに学習の目標を明確にし、児童が達成感を味わう授業を工夫していく必要がある。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・体育科学習で、目標を明確にし、運動時間(実質的な運動量)をしっかりと確保した学習展開を工夫する。  
 ・体育科学習で、運動の場やルールやチーム編成などを工夫し、児童が楽しみながら「わかった」「できた」を実感できる学習を行う。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・休み時間等を活用し、オリンピック・パラリンピックチャレンジとして様々な運動に親しむ場を設定する。その際は、がんばりカードへ運動の足跡を記入したり、記録測定会などを行ったりして、児童の「できた」という思いを高め、運動に進んで取り組む意欲と態度を高めていく。また、保護者への参観、学校だより等を通して、取組を保護者へ知らせ、運動習慣についての啓発を図る。